



福島南ロータリークラブ

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-23-0375
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
2011年-2012年 RI テーマ

- 会長：高橋和之 ■幹事：菅原節子
- 会報委員長：松崎弘昭 ■副委員長：鈴木光一
- 委員：丹治智幸 丹治洋子 福田昌明

第21回例会

平成23年12月7日(水) サンパレス福島

■メークアップ/23名 ■修正/67名 ■修正率/100% ■会員/67名 ■出席/44名 ■出席率/65.67%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 ベネファクター認証記念
宍戸 英男 会員 他 11名へ贈呈
- 4 「ロータリーの友」読みどころ
- 5 誕生者お祝い 誕生者スピーチ
- 6 委員会報告
クラブビジョン委員会 野地 利雄 委員長
- 7 東北第一分区 新世代会議報告
新世代奉仕委員会 伊藤 弘子 委員長
- 8 京都洛中RC訪問報告
復興支援室 林 克重 副室長
- 9 閉会点鐘

今月・来月のプログラム

- 12月14日(水) クラブ年次総会 次年度役員・理事発表
例会後 IM 実行委員会
IAC 例会 福島成蹊高校 午後4時45分～
- 12月21日(水) 夜間例会 家族クリスマス忘年会
- 12月28日(水) 例会 休会

今週のトピックス

原子力賠償紛争審査会では、県内23市町村の全住民を対象として8万円(18歳以下は40万円)の賠償金額を決定しました。「これしか・・・」「こんなに・・・」「俺には・・・」と国民の気持ちは様々ようです。

◆会長あいさつ◆

高橋 和之 会長



12月の誕生者おめでとうございます。みなさんでお祝いいたしましょう。

先週の3日に二本松あだたらRCのホストによります新世代奉仕会議に、7名の会員と3名のインター

アクターと一緒に出席して参りました。後ほど伊藤弘子新世代奉仕委員長に会議のご報告をいただきます。

今日は食事のあとに、野地利雄委員長からクラブビジョン委員会の第1回のご報告をいただきますが、その前に私から一言、経緯について申し上げたいと思います。皆さんもご承知のとおり、カルヤン・パネルジーRI会長は、今年度の強調事項として「家族」と「継続」と「変化」に力を注ぐと申しております。

「継続」と「変化」は、時代の経過と共に、環境も経済も変化するのが常でありまして、その時点 時点において、継続すべきものと変更すべきものを認識して、意識的に行動の変革が必要だという考え方です。ロータリーの歴史も我が南RCも、先人たちがこの時代の変化を乗り越えてきたからこそ、今日まで生きながらえてきたと思います。

我が南RCも、今後さらに末永く元気な活動をしてゆくために、高い志と情熱を持って「継続」と「変

化」を起こしてゆく必要があると思うのであります。

特に昨今の地球規模での大きな変化や、今回の大震災による価値観の変化は、今後、益々大きく潮流が変化するだろうと想像します。また、ロータリーは単年度活動だからこそ、年度ごと継続的に見直しを行うことによって、時代のニーズに適合した、活動しやすいロータリークラブになるのではないかと思います。クラブビジョン委員会の立ち上げを企画提案させていただきました。

東京日本橋RCグループの福祉車両贈呈式は、12月15日(木)午後1時30分から福島県社会福祉協議会主催で執り行われますのでご報告申し上げます。

◇ロータリーの原動力は友情です◇

◆第7回理事会報告◆



12月7日(水)午後6時から市内の料理店「精華苑」で第7回の理事会が開催されました。理事会では、1月のプログラム、そして次年度役員、理事の承認がされました。

また、家族例会への友人・知人などのオブザーバーの参加について協議がなされましたが、あくまでも会員の家族に限るとの理事会の結論になりました。

◆ベネファクター認証記念贈呈◆



宍戸英男会員にベネファクター認証の記念品が贈呈されました。

右の写真は、ベネファクターとマルチプル贈呈者です。

マルチプル贈呈者：黒羽好夫会員(8回)、鈴木恒昭会員(7回)、齋藤ミヨ会員(6回)、三浦善治会員(4回)、佐久間功会員(4回)、植木洋司会員(4回)、林 克重会員(3回)、高橋勇雄会員(2回)、伊藤弘子会員(2回)、高橋和之会長(2回)、丹治洋子会員(1回)

◆「ロータリーの友」読みどころ◆

クラブ広報・雑誌委員会 吉田 仁一 副委員長



〈横組みのページ〉
家族月間にちなんだ特集記事が掲載されています。

〈縦組みのページ〉
友愛の広場では、9月号の齋藤浩会員の投稿記事に触発されて大阪梅田RCの辻中昭一さんが寄稿しています。

◆誕生者お祝い・スピーチ◆



武藤正隆 会員

12月11日で67歳になりますが、長女と同じ誕生日で干支も同じです。

「真実かどうか」というテストも当初は、キリスト教的な絶対の神に対する大変厳しい意味合いのものでした。真実は、事実とは少し違って、その行為者の内心・主観的意思・精神によって決定されるということです。



福田順一 会員

私は、南RCに入会を進められて5秒で決断しました。それまでは、誰も声を掛けてくれなかったのです・・・笑

63歳になりましたが、体調の関係もあり、来年の1月5日で社長を後任に譲ることにしました。でも、ロータリーはしばらく続けていきます。

※ 例会には出席できませんでしたが、金子興宏会員、伊藤紘一会員も誕生日を迎えられました。おめでとうございます。

◆委員会報告◆

クラブビジョン委員会 野地 利雄 委員長



委員会の構成は、委員長が私で、副委員長が林さん、委員は黒羽さん、会長エレクトの紺野さんの4人です。

12月2日に事務局にて第1回の委員会を開催しました。

地区においても次年度より新たにビジョン委員会が立ち上がります。委員会といたしましては、3.11の震災以降ロータリーの奉仕に対する考え方や活動方法が変化していることを踏まえ、2月中に出る地区のビジョン委員会の意向を受けて、地区の方針と整合性をとれる内容のクラブビジョンを作成していきたいと思っております。

◆東北第一区 新世代会議報告◆

新世代奉仕委員会 伊藤 弘子 委員長



12月3日(土)に二本松あだたらRCのホストで行われた東北第一分区の新世代奉仕会議に参加してきました。

新世代会議とは、新世代と地域の指導者との対話集会のことで新世代の皆さんが、夢・希望・関心事、また地域に対する要望や提案などを発言し、それに対して地域の指導者が感想や対策などを述べるものです。

今回は「頑張ろう東北・頑張ろう福島」というテーマで7名の新世代代表に発表して頂きました。

発表は、一人ひとりがこの大震災を体験して考えたこと、思ったこと、行動したこと、学んだこと、絆の大切さなど大変感動的な内容でした。

その後、「ロータリーの進化と新世代奉仕」という演題で大橋廣治パストガバナーより講演をいただき、新世代の全員が、誰もが愛する福島で、この地域で、このふるさとで自分の夢に向かって頑張る。そして、出来ることから行動する。と訴えておりました。

◆スマイリングボックス◆

本日はお世話になります。

福島西RC 河野 坦司 様

12月誕生者おめでとうございます。

高橋 和之 会長
ベネファクター等認証の皆様おめでとうございます。

菅原 節子 幹事
今年は残すところあと2回例会となりました。

鈴木 光一 会員
本日も出席できました。林 克重 会員
本日、誕生日を祝っていただき皆様に感謝致します。12/23日天皇誕生日と同じで63歳になります。

福田 順一 会員
誕生祝いを頂いて 武藤 正隆 会員

スマイル 42,000円 累計 992,000円
財団・米山 46,000円 累計 945,000円

～一週一言～ 人間の根本問題

自得ということは、自分で自分をつかむということだ。人間は自得から出発しなければならない。金が欲しいとか、地位が欲しいとか、そういうのはおおよそ枝葉末節だ。根本的・本質的にいえば、人間はまず自己を得なければいけない。

安岡 正篤 一日一言より

―編集後記―

犯す、置かず、於かず、侵す、冒す、措かず、擱かず...言葉の使い方には注意が必要です。(松崎弘昭)